

## 平成26年における交通事故等の発生状況(速報)

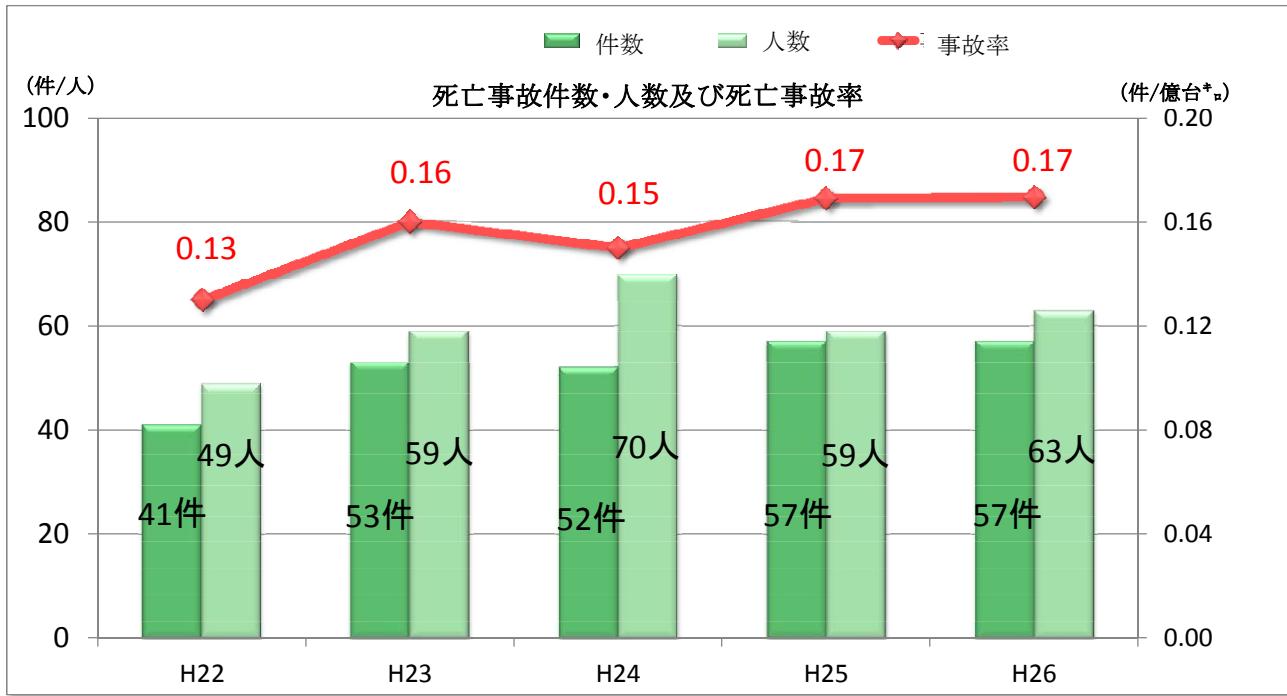
NEXCO東日本(東京都千代田区)管内における平成26年(1月1日～12月31日)に発生した交通事故等件数について取りまとめましたので報告いたします。

NEXCO東日本では、引き続き交通安全対策に積極的に取り組んで参ります。

注) 資料中の値はNEXCO東日本調べの速報値を用いています。

正しい交通事故統計については、警察の公開資料等を参照願います。

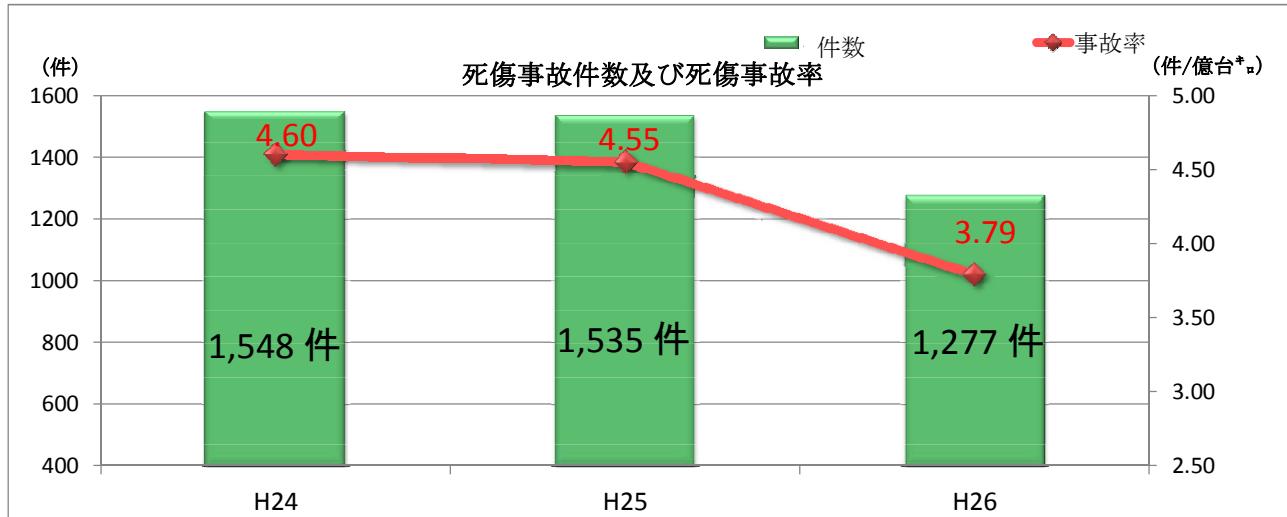
## 1 死亡事故件数及び死亡事故率(過去5年間)



## 【対前年比較】

・死亡事故件数:同数   ・死亡事故人数:増加(+4人)   ・死亡事故率:同率

## 2 死傷事故件数及び死傷事故率(過去3年間)



## 【対前年比較】

・死傷事故件数:減少(▲258件)   ・死傷事故率:減少(▲0.76件/億台)

# H26 死亡事故の要因・事例紹介

死亡事故要因のキーワードは・・・

单独事故

停止車両衝突

人と車の事故

## 单独事故

17件/57件・20名/63名

居眠り運転など運転操作を誤って防護柵などに衝突し、死亡事故に至る痛ましい事故多発！

発生	道路	事故概要
H26.3	磐越道	原因不明なるも、斜行して路肩防護柵に衝突後、反動で簡易中央分離帯を乗り越え、更に対向車線側の防護柵を突破して、法面に転落。運転手が死亡。
H26.4	常磐道	居眠り運転により斜行して路肩防護柵に衝突。衝突の反動で同乗者4名が車外に投げ出され、うち1名が死亡。
H26.10	横浜横須賀道路	降雨のなか、中央分離帯防護柵に衝突し、車両は大破。運転手と同乗者の2名が死亡。

## 停止車両衝突

14件/57件・14名/63名

事故・故障・渋滞の末尾などの停止車両に追突し、死亡事故に至る痛ましい事故多発！

発生	道路	事故概要
H26.2	関越道	渋滞最後尾で停止していたところ、後続の車が脇見運転をしていたため追突。追突された車は押しつぶされ大破し、運転手が死亡。
H26.9	東北道	故障（エンジントラブル）のため路肩に停止していたところ、後続の車が追突。追突した車の同乗者が死亡。

## 人と車の事故

9件/57件・9名/63名

事故・故障の際に高速道路上を歩きまわり、人が後続車に轢かれてしまう痛ましい事故多発！

発生	道路	事故概要
H26.3	東関東道	故障（燃料切れ）により軽自動車を手押し移動していたところ、後続車に撥ねられ死亡。
H26.12	長野道	事故により追越車線に停止したため、同乗者が発炎筒を設置していたところ、後続車に撥ねられ死亡。

※H26.12月末現在の死亡事故件数（NEXCO東日本調べ）

# 高速道路において逆走事故が多発しています！

逆走が発生しやすい箇所

- ◆インターチェンジ・ジャンクション
- ◆サービスエリア・パーキングエリア

逆走行為は第三者を巻き込んだ悲惨な事故につながります。  
絶対におやめください。

## 【最近の逆走事例】

発生	道路	概要
H26. 12	長野道	安曇野 IC から流入後、本線上で U ターンし、麻績 IC 方面に逆走。逆走車を避けようとした車が中央分離帯に衝突するなど計 4 台が絡む事故が発生。運転手：70 代男性、認知症の疑いあり。
H27. 1	道央道	ガス欠で停車した運転手が、通報でかけつけた NEXCO 東日本の車両を奪い、登別室蘭 IC から札幌方面に逆走。約 60 km に渡り逆走し、道路外に逸脱事故を起こしたところを確保。運転手：30 代男性
H27. 1	北陸道	本線上で U ターンしたと思われる車が三条燕 IC から巻潟東 IC 方面に逆走。逆走車を避けようとした車が中央分離帯に衝突するなど計 8 台が絡む事故が発生。運転手：20 代男性
H27. 1	東北道	一関 IC から若柳金成 IC の上り線を逆走。順行していたトラックと逆走車が正面衝突し、逆走車の運転手が死亡する事故が発生。運転手：30 代男性

## 高速道路は一方通行

**注意標識・路面標示で進行方向確認を！**

**行き先を間違えた！行き過ぎてしまった！**

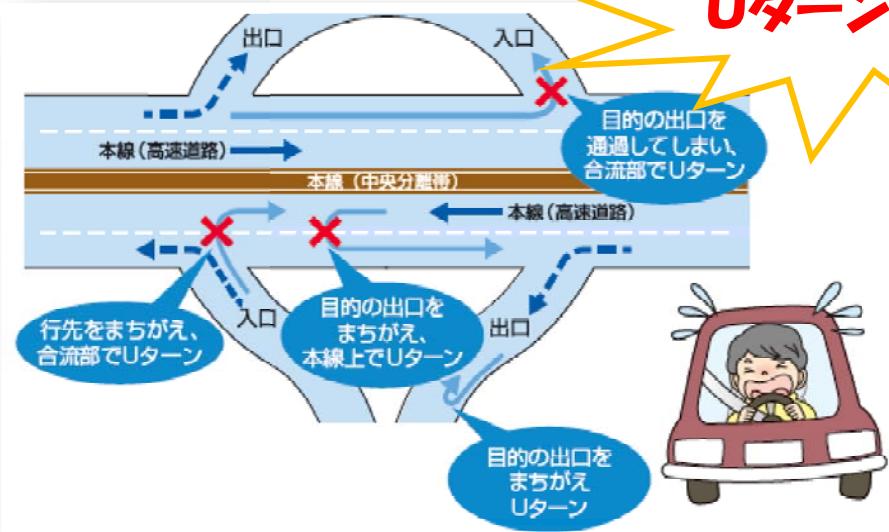
→次のインターチェンジで降りてください。

本線上や料金所付近で

**絶対に U ターン・バックはしないでください。**

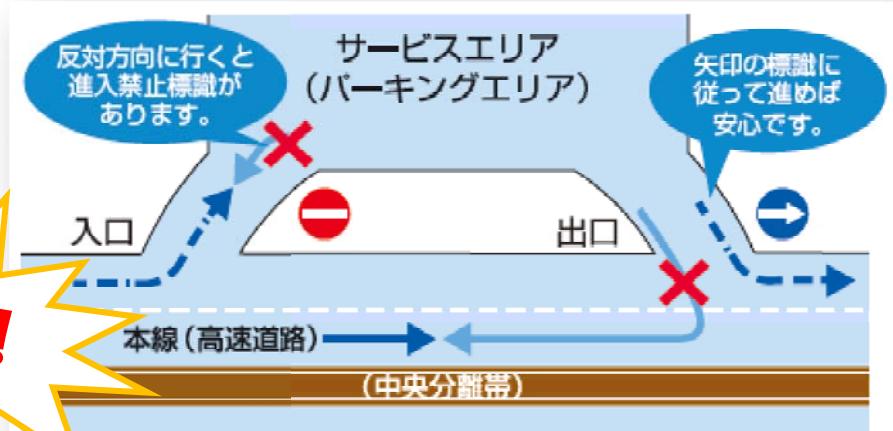
# 逆走はこんな所で起こりやすい！

## ◆インター・エンジ付近で

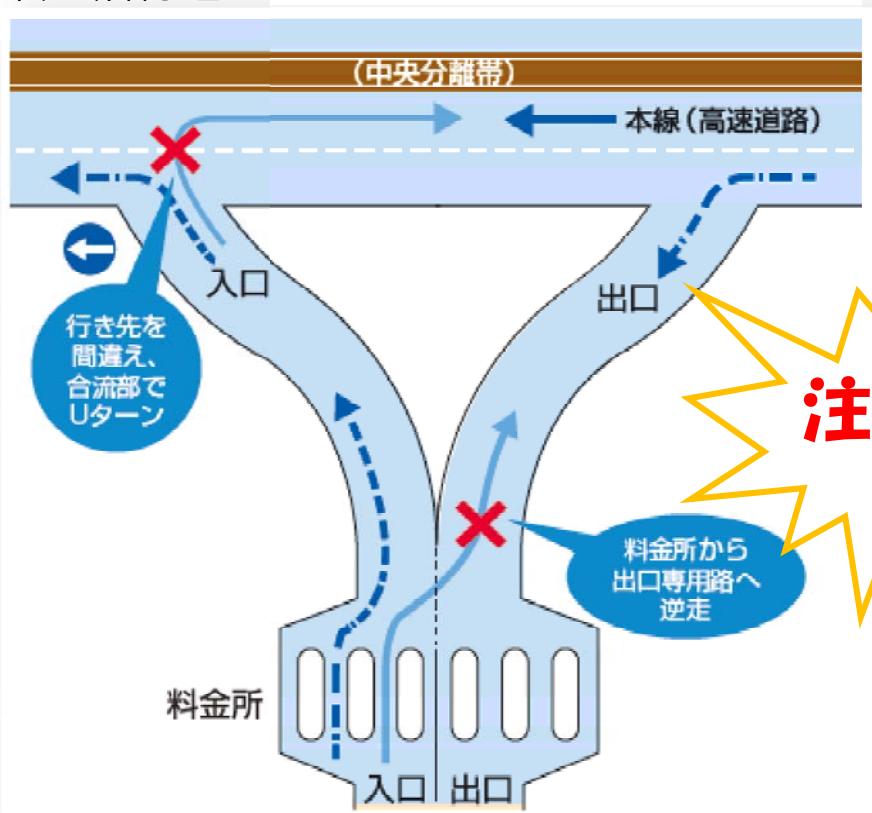


**Uターン禁止！**

## ◆SA・PA付近で



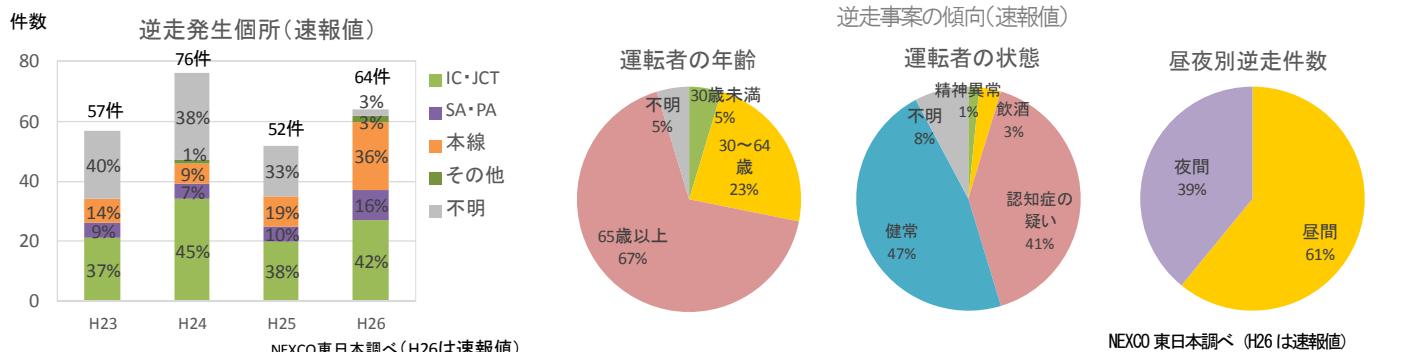
## ◆料金所付近で



# 高速道路における逆走事案の発生状況(速報)と対策の取り組みについて

## 逆走事案の発生状況

NEXCO 東日本では、交通事故または車両確保に至った逆走事案が、平成 26 年に 64 件発生し、そのうち、1 件が死亡事故に至っています。高速道路での逆走行為は、重大事故につながり大変危険であるため、従前から、啓発活動並びに矢印路面標示、注意喚起看板の設置などの逆走防止対策を実施しています。



## 逆走防止対策の推進

逆走行為が起こりやすい箇所(インターチェンジ・ジャンクション・サービスエリア・パーキングエリア)について、矢印路面標示や注意喚起看板の視認性向上、合流部におけるUターン防止対策の強化を積極的に推進しています。



大型矢印路面標示、ラバーポール延伸 (高速道路本線合流部)



高輝度矢印板 (高速道路本線合流部)



大型矢印路面標示 (ランプ合流部)



大型矢印路面標示・注意喚起看板 (休憩施設)

## 逆走防止の啓発活動



### 休憩施設内でのポスター・チラシ掲示

### 高齢者対象 交通安全講習会



### HPによる啓発

### 安全啓発冊子内での広報

### 緊急的に以下の啓発活動を実施 (H27年1月～)



#### 情報板での啓発



#### 休憩施設内での 逆走防止DVD放映

#### 逆走車による事故が多発！

逆走車による事故が多発しています！  
逆走車の情報を見聞きした場合は、  
いずれかの方法で通報をお願いします。

- ① 110番
- ② 道路緊急ダイヤル #9910
- ③ 休憩施設や料金所の係員
- ④ 休憩施設にある非常電話

(運転中の場合は、必ず同乗者から通報をお願いします。)

※逆走車は追走車線を走行する傾向があります。

※逆走情報を聞きいたら速度を落とし、最も左側を走行してください。

#### お知らせモニター メッセージ表示

#### この他、

- ◆FM・AMラジオ各社  
ラジオ内スポットCM等にて  
啓発メッセージを放送
- ◆ハイウェイラジオでの啓発
- ◆自治体広報誌への記事掲載



#### 緊急交通安全キャンペーン